



〒892-0841
鹿兒島市照国町13-42
カトリック鹿兒島司教区
電話099 (226) 5100
振込口座 02030-2-8359
編集発行 教区広報部
1部60円年間千共1100円



司教の手紙

「すべてのいのちを守るための月間」に寄せて

鹿兒島教区司教 中野 裕 明

教区の皆さま、お元気で
しょうか。全世界の教会は
今月から10月4日(アシジ
の聖フランシスコの祝日)
までの期間を「すべてのい
のちを守るための月間」と
定め、その意図するところ
を学習し、実践するよう
に促されています。それで、
今回はその内容についてお
話します。

ス・キリストの姿、そのも
のだったのです。当時、キ
リスト教が社会に十分に浸
透していたのは良いのです
が、近隣の村同士の戦いは
日常的であり、教会は世俗
の富者や権力者と結託して
おり、多くの弱く貧しい
人々は社会の中で見捨てら
れている状態でした。

そんな中、裕福な家庭に
育ったフランシスコは、戦
争による負傷と捕虜生活を
通して、人間の戦い合うこ
との空しさに覚醒し、心を
満たしてくれる人生を求め
始めました。そして福音書
の中のイエスに出会いイエ
スを追求する生き方を始め
ます。まず、人々から見捨
てられていたハンセン病者
を抱擁し、彼らとともに歩
み始めます。その様な生き
方に対して、彼の将来を嘱
望していた父親は、町の有
力者の力を借りて、公に彼
を家に引き戻そうとします
が、フランシスコは、身に
着けていた衣服を脱ぎ、父
に返します。それは、地上
の父親との決別を意味する
と同時に、すべてを恵まれ
る天の御父への帰属を意味
していました。そして、大

司教からもらったマントを
身にまとい、托鉢生活に入
ります。
その後、キリストのみ旨
を祈り求めていると、「ダ
ミアン教会を再建せよ」と
の啓示があります。フラン
シスコは、その声は、崩れ
かけた一つの教会の話だと
理解し、さらに他の教会の
修復をも手がけました。し
かし、イエスの啓示の意味
は、物理的な教会堂だけで
はなく、教会全体の霊的再
建という意味でした。

とここで、ご存じのよう
に教皇フランシスコは元来
ホルヘ・ベルゴリオという
名のイエズス会士です。イ
エズス会士が教皇に選出さ
れて、アシジの聖フランシ
スコを教皇名に取られまし
た。イエズス会出身の教皇
は史上初であると同時に、
アシジの聖フランシスコが
教皇名に取られることも初
めてのことです。初物尽く
しの教皇ですが、教皇フラ
ンシスコの誕生は、慈しみ
深い神の様々な困難に見舞
われていた現在の教会への
最高のたまものであると私
は感じています。
それは、アシジの聖フラ

ンシスコに啓示なさった、
「教会を立て直しなさい」
との使命が、800年の時
を経て、現在、教皇フラン
シスコのもとで果たされつ
つあると私は感じているか
らです。その根拠は、上
記した二つの回勅にありま

ザビエルの列聖400年を祝う

今年のキリスト教伝来記念ミサ

8月15日(月) 恒例の
「キリスト教伝来記念祭」
のミサが鹿兒島カテドラ
ル・ザビエル記念聖堂でさ
げられた。
今年にはフランシスコ・ザ
ビエルが列聖されてから4
00年にあたることから、
ミサの前にイエズス会日本
管区長のデ・ルカ・レンゾ
神父の講演「ザビエル列聖

400年を記念して、その
意義と時代背景」もあつ
た。
当初の予定では、この記
念の年の伝来祭に合わせて
バチカン駐日大使レオ・ポ
ツカルディ大司教に奄美大
島(14日)、鹿兒島市(15
日)を訪問してもらいミサ
をささげ歓迎会を実施する
予定だったが、大司教が直
前の11日に熱中症
による転倒で腕を
骨折し医師の指示
もあつて急遽、鹿
兒島教区訪問を取
りやめられた。
そのため奄美で
は、計画に組み込
まれていた奄美出
身の押川前那覇司
教の司教叙階銀祝
と郡山司教の司祭
叙階金祝を祝うこ
とをメインにした
ミサが聖心教会で
ささげられ、大使
からはビデオメッ
セージの説教とな
った。ミサ後は奄



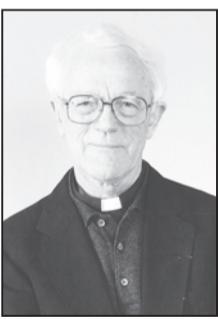
100人余の信者が参列した今年の伝来記念ミサ

自分もそのように自覚して
いると同時に、宗教、思
想、信条の異なる人に対し
ても「兄弟の皆さん」と呼
びかけているのです。
この回勅の起草について
はイスラム・スンニ派の最
高指導者とイスラム学者の
お二人と教皇との積み重ね
られた対話から受けた多く
の刺激が底辺にあると説明
されています(回勅「兄弟
の皆さん」265頁参
照)。さらに、教皇とイス
ラム指導者との共同文書
「世界平和と共生のための
人類の兄弟愛」(同上25
1〜264頁に収録)の内

とを心に刻み、いつかマリ
アの子どもとして永遠の命
に入れるよう祈ろう」とメ
ッセージをくれた。
15日夜、鹿兒島市のホテ
ルで開かれたレセプション
には、各教会、修道会、幼
稚園・学校の代表者、シド
ッチ記念館設立を目指すN
PO法人の代表者も加わ
り、平和について語り合う
交流のひと時が持たれた。
その中では、ポツカルディ
大司教の奄美大島での説教
がビデオメッセージで流さ
れたほか、映像で教区紹介
がなされた。

容は圧巻です。
最後に、上記2冊の回勅
を読みこなすことは相当困
難です。しかし、その中の
文章のいくつかの文脈でも
理解できるとしたら、混乱
する現代の世界情勢の裏側
にある諸事情が透けて見え
るに違いありません。教皇
フランシスコが命がけで、
訴えていることは、二つの
回勅で指摘されていること
が、私が真実であるかどうか
を、私たちが暮らしている
現場、あるいは日常生活の
中で確認する作業を怠らな
いようにということなのだ
す。

ハヌス神父が帰天



永年、鹿兒島教区の宣教
司牧に尽力してくれたレデ
ンプトール会のハヌス・ハ
ヌス神父が7月18日、ドイ
ツのガルス修道院で老衰の

ために帰天した。93歳だつ
た。
ハヌス神父は1928年
9月にドイツはトゥンドル
フに生まれ、1955年7
月13日に司祭に叙階、その
4か月後に来日した。
鹿兒島教区では大口教
会、出水教会など北薩地区
や徳之島地区で司祭とし
て、また幼稚園の園長とし
て50年あまり働き、多くの
人にキリストの愛を伝え、
2015年6月にドイツへ
帰国していた。

ハヌス神父は1928年
9月にドイツはトゥンドル
フに生まれ、1955年7
月13日に司祭に叙階、その
4か月後に来日した。
鹿兒島教区では大口教
会、出水教会など北薩地区
や徳之島地区で司祭とし
て、また幼稚園の園長とし
て50年あまり働き、多くの
人にキリストの愛を伝え、
2015年6月にドイツへ
帰国していた。

第一部 教会とは？

I. キリストの教会

教会とは、ナザレのイエスが主であり、キリストである。つまりイエスが神であり、救い主であると聖霊の働きを通して信じ、洗礼を受けて神の子となつた人々の集いである。

私たちは、父である神から世界に遣わされた独り子イエスと出会い、その霊によつてイエスを知り、イエスを信じ、イエスと交わり、一つに結ばれて「イエス・キリストの教会」を作つています。

父なる神はご自分の独り子をこの世界に派遣して、人類を救うという「救いの計画」の実現へと向かわれます。その神の計画に従い、イエスは父のみ旨を生きて、最後はご自分の死によつて人間の死を打ち破り、永遠の命の扉を開き、私たちに永遠の命を与えてくださいました。それ故に、教会は「キリストの教会」です。

II. 教会は神の民

人間は本来、共にある、共に生きる、ように心に刻まれている社会的存在です。人間は本来交わりを開かれ、飢えています。共に喜び、共に泣き、愛し合うように造られています。公会議はこの人間の根源的な本質と啓示に基づいて次のように述べています。

「神は、人々を個別的に、まったく相互のかわりなしに聖化し、救うのではなく、彼らを真理に基づいて神を認め、忠実に仕える一つの民として確立することを望んだ」(教4)

そこで教会は「父と子と

聖霊の一致に基づいて一つに集められた民として現れる」(同)と言えるのである。教会は神の民という表象あるいは概念が第二バチカン公会議の教会についての主要な考え方になりました。

そこで教会は規模の大小を問わず、教会としての本質的な要素があれば教会という名で呼ばれます。一つは全教会です。これは「普遍的教会」とも呼ばれます。世界中のカトリック信者の全体あるいは総体、世界教会です。

もう一つは部分教会です。全教会に対して部分教会と言われ、これは教区とも呼ばれます。教区を設立しようとするとき、そこに真の教会としての本質的な要素が認められれば、新しい教区が誕生します。部分教会に属する者は全教会に所属する者に、小教区に属する者も全教会、部分教会に所属する者になります。小教区に所属することによって私たちは部分教会と全教会を両方とも体験しているわけなのです。

カトリック教会の多様性を生きる

〜とくに信徒と聖職位階とのかかわりの中で〜

鹿兒島教区司祭

永山 幸弘

も呼ばれます。教区を設立しようとするとき、そこに真の教会としての本質的な要素が認められれば、新しい教区が誕生します。部分教会に属する者は全教会に所属する者に、小教区に属する者も全教会、部分教会に所属する者になります。小教区に所属することによって私たちは部分教会と全教会を両方とも体験しているわけなのです。

III. 教会は「しるし」

教会が「しるし」というとき、教会は神秘ということでもあります。目に見える教会の姿は見えない霊的現実の表象であるということです。

教会憲章は冒頭で「教会はキリストにおけるいわば

秘跡、すなわち神との親密な交わり、全人類の一致のしるし、道具である」(教1)と表現しています。教会はキリストによつてもたらされた神と人間、人間相互の霊的交わりのしるし、またそれを実現していく見える道具であるということです。

教会には見える部分と見えない部分が一体になつて存在しているのです。もちろん、教会は七つの秘跡の一つではありません。かえつて教会は七つの秘跡の源泉であるということから、教会は原秘跡、あるいは根源的秘跡ともいわれることでもあります。

ところで私たちは教会の神秘を見逃すと、教会の見える部分に重きを置いて見

IV. 教会がめざす「神の国」

教会は「キリストの教会」です。キリストはご自分の十字架の死と復活によつてすべての人を救い、すべての人がキリストの食卓を囲み、平和を求めていく集いになるように招いておられます。これが神の支配と統治の中で、人間の相互の愛と誠実によつて創造される愛と正義、真理と平和の集いとして現れる神の国であり、教会はこの国の実現を目指しています。

ここで、教会の本質的な事項を確認しておきます。教会の頭は十字架で死に、復活し、栄光のうちに父と

動かす源泉は聖霊、その掟は互いに愛し合うという相互愛です。その目的は神の国、そのためにみ言葉と証しを通してすべての人を一つに集め、世の終わりにキリストによつて完成される神の民です(教9参照)。

教会が自分の中に閉じこもり、社会の福音化に目を向けなくなる時、その存在の意味を見失うことになり

ます。繰り返しますが、教会は全人類を神の一つの民、キリストの食卓を囲む集いにするのが、信徒も聖職位階にある者も含めてすべての者に託された任務と責任です。

※(略号)「教」II第二章「(その後)に続く数字はその文章につけられているナンバー」

共におられるキリストです。この民は神の子らとしての品位と自由を持ち、彼らの心の中に住み、彼らを

ミサ時間の変更(始良) 始良教会では9月4日から主日のミサの開始時間をこれまでの午前10時から午前9時に変更することになりました。

+KABAYAN SEKSYON+

Laiko at Buhay Pamilya

Isang malaking hamon na kinakaharap ng buong Simbahan ay nakatuon sa papel ng pamilya. Ipinahay-ag ng mga Obispo sa Asya sa ikaapat na Pangkalahatang Pagtitipon ng FABC sa Tokyo: "Ang pamilyang Asyano ang pinakamunting sisidlan ng lahat ng mga problema ng buong Asya: kahirapan, paniniil, pang-abuso at paghamak, pagbabahagi at mga iringan.

Ang pamilya ay tuwirang naapektuhan ng mga problema sa Asya na pang-relihiyon, ekonomiya, panlipunan at pangkultura, mga problemang kaugnay sa mga kababaihan, kalusugan, paggawa, negosyo, edukasyon..." Sa madaling sabi, bawat kaganapan at situwasyon ay palaging may epekto sa pamilya.

Sa kontekstong ito, ipinahayag ng mga lider Simbahan ng Asya: "Sa pakikinig nila sa Ebanghelyo na tumatawag sa kanilang tanggapan ang misyon nila sa Simbahan at sa mundo, matatagpuan ng laiko sa pamilya ang pinakamahalagang larangan na maaaring nilang pagnilayan sa kanilang sarili."

Isang paraang pastoral para mapagtibay ang buhay pamilya ay ang pagtataguyod ng mga tradisyonal ng "mga Asyanong pagpapahalaga na malaon nang nakatanim sa ating kultura," tulad ng "pagiging malapit ng mga miyembro ng pamilya sa isa't isa, pagiging madasalin, pagaaruga at paggalang sa mga nakakatanda."

Dagdag dito, kailangang itanong ng laiko: Ano ang ilang mga bago at malikhaing paraan para maihatid ngayon ang Ebanghelyo sa mga pamilya?

Sa panahon ito ang pinakamahalagang paraan para maihatid ang Ebanghelyo sa mga pamilya, kailangan muli ang tinatawag na "pagbabalik sa katesismo" na turo ng Simbahang Katoliko. Ang pinaka basehan ng ating buhay pananampalataya. Ito ang kailangan para magampanan ng bawat pamilya ang tunay na pamumuhay bilang isang pananampalataya.

Laiko, Simbahan at Misyon (Fr. Dino Orolfo)

千羽鶴を奉納し平和を祈る

聖心教会の聖母被昇天ミサ

中心となつて、約2か月かけて心を込めて折りあげた

8月15日、このコロナ禍にあつても聖心教会(鈴木康由主任司祭)では聖母被昇天のミサが行われました。この祝日にあつて聖心教会ではウクライナ国旗の青と黄色の千羽鶴を奉納されました。奉納された千羽鶴は女性信徒が

聖書愛読運動「旧約聖書・歴史書編」完走者
中野美枝子さん(聖心教会)、山頭信子修道女(純心聖母会川内修道院)、権頭暁子さん(聖心教会)、川端千鶴子修道女(イエスのカリタス修道女会笠利修道院)、山城充さん(枕崎教会)、市来房枝さん(国分教会)、武野美千代さん(鴨池教会)、山口寛子さん(ザビエル教会)、砂守榮子さん(大熊小教区浦上教会)、田代皎子さん・直泰江さん(谷山教会)、最上愛子さん(瀬留教会)
聖書愛読運動「新約聖書」完走者
早田清子修道女(純心聖母会鹿兒島修道院)
※8月19日現在



もの。この折り鶴を通じて未だ終息の見えない戦禍にあるウクライナの人々のため、またすべての命が尊重されるように平和の元后とも呼ばれるマリア様に世界平和の実現を祈りました。

「ウクライナ」支援募金 教区では、レデンプトール宣教修道女会とカノッサ修道女会を通してウクライナ支援することにしました。郵便振替は下記の通り。

郵便振替：02030-2-8359
加入者名：カトリック鹿兒島司教区
*通信欄に「ウクライナ」と明記の事

祈り誘う「ゴルゴダ」の十字架がシンボル

吉野教会が創立50周年を祝う

吉野教会(栃尾泰英主任司祭)は、今年4月1日に創立50周年を迎えました。



吉野教会がザビエル教会から小教区として独立したのは、戦後4半世紀を経たのは、戦後4半世紀を経た...

以前(2020年12月)、新約聖書に見られる「ほめたたえます」という言葉は原語では「まったく同意する、告白する」という原義から派生して「ほめたたえる」、「賛美する」、そして「感謝を捧げる」という意味をもつようになったと考えられるということをお話しました。

これは何らかの行為を自分自身に向けることです。まず行為や使役での活用を考えると矢を放つことは目的を射るという目的をもつた行為です。であれば狙いを定めなければなりません。であれば神様を凝視する結果、自ずと神様に感謝するようになります。

《康由神父の聖書教室》(54)

言葉に注目して読み解く



謝したり、神様を賛美したりすることが踏まえられているように思われます。次に再帰での活用を考えると矢を自分に向けて放つこととすれば痛みを伴うこととなります。神様に感謝をするきっかけとなるのは喜びの時ばかりではない。

奄美連合壮年会が奉仕作業

赤尾木研修センター、名瀬納骨堂で

7月10日(日)連合壮年会恒例の赤尾木研修センターの清掃作業に30人余の参加があり、樹齢150年のガジュマルの伐採、草刈り、ペンキ塗り、コンクリート作業を行いました。

作業後、ブイジュ神父没後100年の命日ミサをささげ、歴代の宣教師のご苦勞と働きの実りに感謝することでした。7月31日(日)午後、奄美連合壮年会では「カト

学校の校長、小中学校のPTA会長、帯迫集落会長など多くの来賓を迎えました。そして翌1972年には七田和三郎神父様が初代主任司祭として赴任され、カトリック吉野教会が創立されたのです。

その神父様のもとで吉野教会の信者は徐々に増え、手狭になった教会改築の機運が高まり、教会創立から10年後の1982年に大幅改築され、現在の教会が建立されたのです。



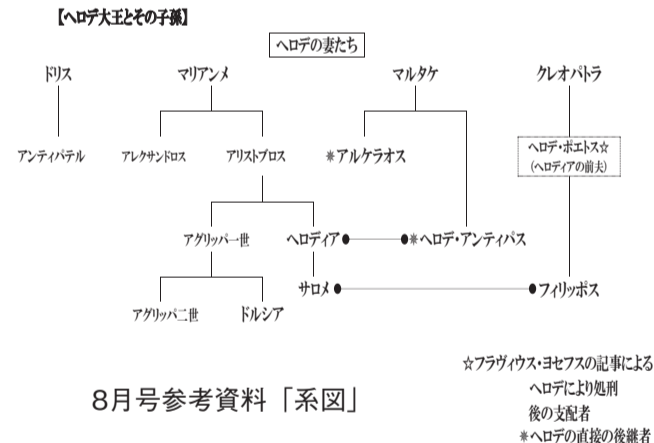
リック納骨堂(奄美市名瀬永田町)周辺の除草、清掃美化作業を実施しました。これは毎年、お盆を迎える前に実施している活動で、今年も各教会から20余人の壮年が駆けつけてくれました。

このことは彼らは私たちと異なった視点で虹に弓と射手である神様を見ていたのです。聖書は異なる言語・文化、そして風土の中で紡ぎだされたものです。ですからほんの一言に着目するだけでも読み解きが豊かになるのではないのでしょうか。

ヘロデ王とその子孫の参考資料が抜けておりました。掲載いたします。

お詫びと訂正

8月号2段目「ヘロディアとヘアンティア」は、「ヘロディア」と「ヘアンティア」の間違ひでした。お詫びし訂正いたします。また



8月号参考資料「系図」

会と催し 9月

- 1日(木) 川淵勇神父命日(1997年)
4日(日) 年間第23主日
6日(火) 被造物を大切にしよう世界祈願日
7日(水) 牧山重光神父命日(2005年)
8日(木) 聖マリアの誕生
11日(日) 七田和三郎神父命日(1989年)
14日(水) 年間第24主日
15日(木) 奄美宣教再開記念日
18日(日) 年間第25主日
19日(月) 桃菌淳一郎助祭、久保俊弘助祭叙階記念(2005年)
21日(水) 聖マタイ使徒福音記者
22日(木) 教区福祉施設協議会・教区本部・9時
23日(金) 李秉徳神父叙階記念(2016年)
23日(金) ダニエリ神父命日(2003年)
24日(土) パルビニ神父命日(2004年)
24日(土) 青年会・鴨池教会・18時30分
25日(日) パストラルケア・教区本部・14時
25日(日) 年間第26主日
26日(月) オリーブの会・教区本部・14時
26日(月) 世界難民移住移動者の日(献金)
26日(月) カリタス鹿兒島・教区本部・14時
27日(火) 教区司祭会・教区本部・17時
27日(火) コンペンツス・教区本部・10時
27日(火) メニヒ神父叙階記念(1959年)
28日(水) 松永正男神父命日(聖ビンセントオ)
29日(木) 中野アカデミー・教区本部・19時
29日(木) ティエン神父命日(聖ガブリエル大天使)
29日(木) 四條淳也助祭命日(聖ガブリエル大天使)
29日(木) 竹山昭神父命日(2019年)
【司教日程】20日司教研修(ローマ)、26日カリタス鹿兒島、27日コンペンツス、28日中野アカデミー

お詫びと訂正

先月号の一面「戸田教会で最後のミサ」の記事で教会を閉めることとなった理由を「地主さんから土地返却の願いがあったため」としてありましたが、正しい理由は「小教区において巡回教会の維持・管理が困難となってきたため、地主さんとも話し合い返却することとなった」です。お詫びし訂正いたします。

教職員夏期研修会を終えて

鹿兒島教区 平陽 竹田 幼稚園 鹿兒島カトリック幼稚園

鹿兒島教区カトリック幼稚園の保連盟が主催する第2回教職員夏期研修会が7月27日(水)、28日(木)の両日開催されました。今年度はハイブリット形式での開催となり、会場は「霧島国際ホテル」と各園とのリモート式で2会場での実施となりました。特別支援を要する子どもの増加は、近年の教育現場を取り巻く大きな変化だと言われています。発達障害児への支援を行うため、関係機関との連携体制を構築するとともに、継続的で一貫した支援を行うため支援体制づくりを目指すべく、各園それぞれに日々努力されているのではないのでしょうか。今回の研修では二つの講

演が計画されました。一つは佐々木信一郎先生による「モンテッソーリ教育における発達障害児への関わり方」。二つ目は立本惇子先生による「特別支援を要する園児への関わり方」子どもを困りをキャッチしよう」で大変有意義な講話を拝聴できました。

立本先生の講話からは、子どもの行動の背景を考慮する。特性に合った環境が必要。親の感情の背景を考慮して対応する。子どもが困り感を発信した時に、すぐ対応する(タイミングが重要)。就学前の教師との関係は思春期に影響してくること。気持ちを認めてもらうと安心感がある。これは大人の役割であること。子どもが思っていることを言葉で伝えること。褒める褒めないの見極めが大切であることなど、私たちが日常的に関わっていることの重要性が改めて再確認できた次第です。

また、認知能力は結果的についてくるもので発達サイクルの繰り返しが大切であることも再確認しました。障害児と向き合い、教育・保育をするときの前提

としては、障害から出発しないこと、モンテッソーリ教育環境に入るための準備をするために専門性が必要なことを話され、教師としての資質能力をいかに高めることが重要であることが痛感しました。



要理

大切な人間同士の関係について考え方の違いで上手いかわなくなってしまうものです。しかしこの「違い」こそ大切であり意味があるのです。ちよつと考えてください。3種の違う音、即ち、速さ、高さ、そして強さがあるから心動かされる音楽が生み出されるのです。人間も同じです。だから違いを認め、互いに生かし合おうとするのならみなさんの人生はきつとより良いものとなるでしょう。

みなさんの中には誰かと比べて「こんな自分なんて」と思うときがあるかもしれません。楽器がそうであるように一人ひとりの人間の価値にはありません。この世の指揮者でもあるイエス様は私たちすべてを同じように見てくださっています。そして出番を教えてくれるその指先がいつ自分に向けられるのかは分かりません。だからその時までどんな時でも自分自身を信じてください。みなさんは愛されているのです!

でも子供に恵まれないことがありません。これは神の祝福がないからではなく、特別の使命が与えられていると考えるべきです。したがって、利己的な欲望に駆られて自然に反した方法で子どもをうけようとするのではなく、他人の恵まれない子供を引き取って育てるなど、「生命に対する奉仕」に尽くすよう勧められています。



わち神との親密な交わりと全人類一致のしるしであり道具である(教会憲章1)のです。そのために、信徒は、主日のミサ等における教会の交わりと一致を見えるものとすると同時に、キリストが命じられた新しいおきて、すなわち「相互愛のおきて」を徹底し、キリストの王国を人々の前に輝やかすよう、団結して協力する使命があります。

合わせてささげていくのです。信徒はまた、地域社会から国際社会にいたるまで、世俗社会の良心となり、そのすべてを神に秩序づけるため、個人として、また、同じ善意と価値観をもつ仲間と共に、社会の福音化に取り組むよう招かれています。そのためにまた、国民や市民の安全や秩序を守り、思想信条の違いを超えてすべての人々の共通善を目的とする政治にも、市民の名において、また、キリスト教的良心をもってこれに参加するよう求められています。

信徒のための信仰生活指針⑤

第2バチカン公会議に基づく信徒固有の霊性

自分たちの信仰生活をもっと充実したものとするため、カテキズム(要理)を学びたいという希望に沿うための一つとして、故・糸永司教様が出された「信徒のための信仰生活指針」を連載することにしました。

三・王的使命

これは世界の王であるキリストの使命に信徒として参加することです。この使命は、個人の生活はもちろ

1. 生活の基本的な場・家庭の聖化

信徒にとつて家庭は基本的な生活の場です。この家庭をキリストの愛の支配のもとに営み、教会の生きた細胞として「家庭教会」を

2. 教会共同体の福音化

教会はそこに生きて働いておられるキリストのしるしであり、キリストによって新たにされた世界のしるしです。「教会はキリストにおけるいわば秘跡、すな

3. 社会を福音化し、地上世界のすべてを神に秩序づける

世俗に生きてこれを神に奉獻していくという固有の使命を受けた信徒は、キリ

